

小学校外国語活動グループ研究会

グループ員：池田 真千子（伊丹小学校） 辻森 亮太郎（笹原小学校）
吉廣 郁美（桜台小学校） 西岡 沙耶香（昆陽里小学校）
荒井 麻衣佳（天神川小学校） 政処 布沙（池尻小学校）
木伏 阿美（天神川小学校） 常見 雅代（鴻池小学校）
大黒 仁裕（笹原小学校）

担当指導主事：村上 大介

キーワード：外国語活動 スモールトーク 新学習指導要領 Let's Try! We Can!

1 研究テーマ

「対話力を高めるスモールトークについて」

2 研究内容

(1) 授業におけるスモールトークの活用について

スモールトークとは、高学年で設定されている活動である。2時間に1回程度、帯活動で、既習のテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで考えや気持ちを伝え合ったりする言語活動のことである。また、5年生は指導者の話を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に行う。

① 取り組みの現状について交流する

まず、各校でスモールトークがどのように行われているか共有をした。5年生1学期では、実施している学校が少なく、2学期から取り入れる学校が多いことがわかった。5年生では、担任とJTEやJTEとALTの話を聞いたり、ペアで簡単なやりとりをしたりすることができるようになった。来年度からは、教科化となるため、年間指導計画や教科書に沿ったスモールトークを行い、既習表現を積み重ねて対話力の向上を図っていく必要がある。

② 研修ガイドブックから

文部科学省から出されている「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」に、We can!のUNITごとに扱うことができるスモールトークの代表例が掲載されている。伊丹市の児童たちに合うようにUNITごとに内容を見比べたり、オリジナルのスモールトーク集を作っているところもあったりし、それらを共有し合った。

例 6年生 UNIT4 I like my town.

We live in Itami. Itami is very nice town. (伊丹の地図を示しながら)

We have Kotobagura.

I like books. How about you?

※このスモールトークでは、伊丹観光略図を用いてスモールトークを行う。

3 成果と課題

(1) 成果

・各校におけるスモールトークの現状の話し合いや、オリジナルスモールトーク集を開いて実践例を共有することができた。

(2) 課題

・伊丹市の小学校で使える、統一されたスモールトーク集の作成を検討していく。